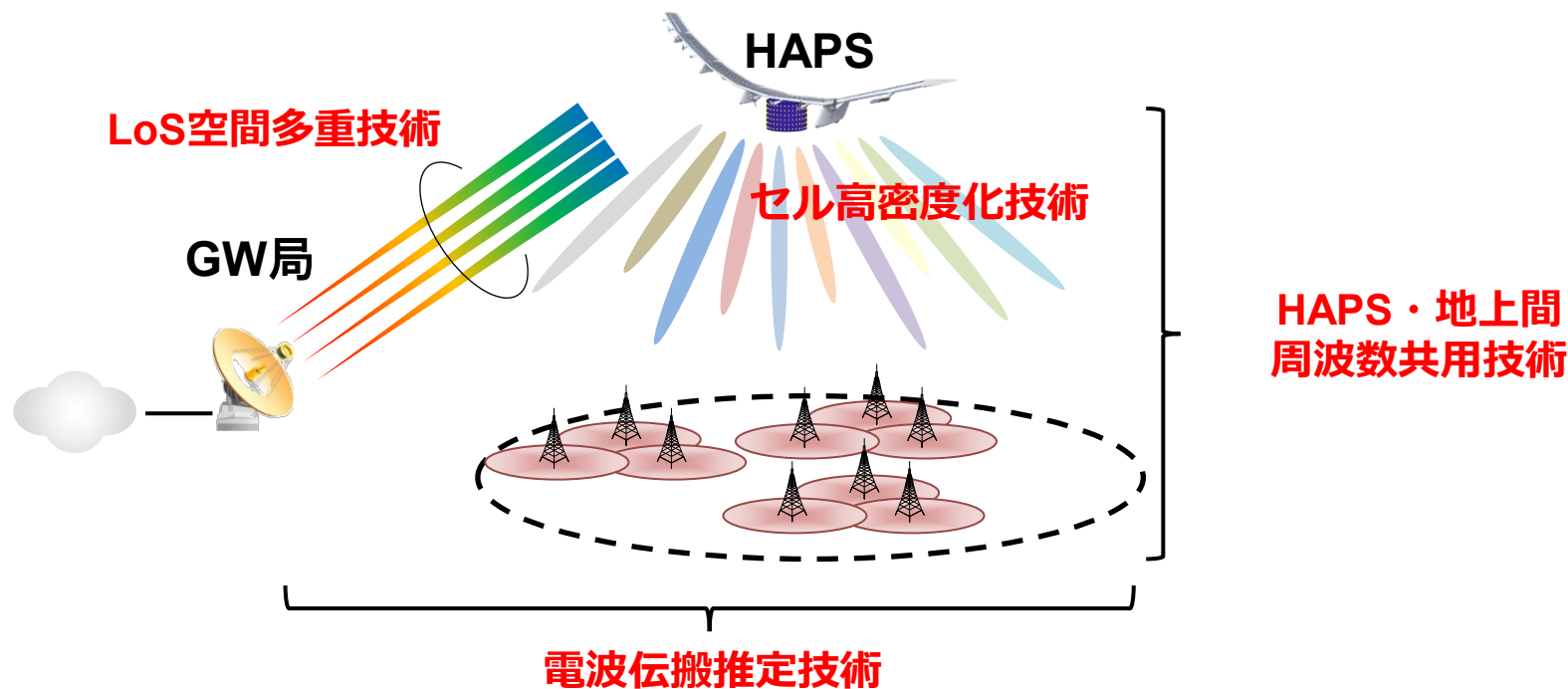


(基金電波077) Beyond 5Gにおける超広域・大容量モバイルネットワークを実現するHAPS通信技術の研究開発

研究概要：セル高密度化技術によりセル当たり1.2倍以上の周波数利用効率、および、12セル以上のセルの高密度化を実現し、従来技術と比較して2倍以上のサービスリンクの通信容量の達成を目標とする。また、LoS空間多重技術によりフィーダリンクにおいても2倍以上の周波数利用効率の達成を目標とする。さらに、空間軸の干渉抑圧と時間・周波数軸の無線リソース割当の連携制御により、HAPS・地上間の同一周波数共用を実現するとともに、従来技術と比較して1.5倍以上の周波数利用効率の達成を目標とする。



【契約期間】令和5年度～令和6年度（ステージゲート評価予定）

【契約総額】約28億円

【受託者】ソフトバンク株式会社（代表研究者）